

今月の県立図書館テーマ展示 場所：2 階閲覧室

第 1 回展示 テーマ 魔法の国へのパスポート

提供内容：マザーズタッチ等絵本、中・高校生向図書資料、親・先生向けガイド資料、その他
期 間：4 月 1 7 日（月）～ 5 月 1 4 日（日）



第 2 回展示 テーマ Let's Start ECO LIFE ～身近なところから

提供内容：6 月の環境月間に合わせ、ISO 関係、自然保護等、環境問題に関する資料
期 間：5 月 2 2 日（月）～ 6 月 2 5 日（日）



紹介する一冊 県立図書館の司書が本を紹介します

書名『われら以外の人類』 内村直行著 朝日新聞社 2005.9

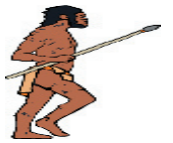
紹介者 成 田

「われら以外の人類」。こう聞いて眉に唾付けて読む類の科学ミステリーと思いきや、さにあらず。著者は朝日新聞の科学医療部の記者です。本書では、人類の進化の歴史について概観しつつ最新の研究成果も紹介されており、謎解きのような面白さが味わえます。

ここ 2 0 ～ 3 0 年で人類の進化史に関して次々と新しい発見がなされ、これまでの説が大きく書き換えられているのだとか。たとえば、出身地域が異なる百数十人の DNA を調査した結果、全員が 2 9 万年～ 1 4 万年前にアフリカに存在した一人の女性「ミトコンドリア・イブ」を祖先とすることが判明したことなどは、かなり話題になりました。

現在のところ、7 0 0 万年前にアフリカで最初のヒトと目される種が現れて以来、存在が認められているヒトの種は 1 9 種だそうです。ルーシーの愛称のついた化石で知られるアウストラロピテクス・アファレンシス、道具を使い優れたハンターだったネアンデルタール人、インドネシアで発見されたホモ・フロレシエンシスはなんと身長 1 メートルほどしかなかったとのこと。そう、「われら以外の人類」とはこれら遠い過去に存在した「ヒト」達を指す言葉なのです。また、進化史と同じくらい興味深いのが、強烈な個性を持つ研究者や化石ハンター達のエピソードです。

もっとも本書に書かれていることだって、今後新たな発見によって覆される可能性もあるはず。地球上には我々人類には解き明かすことのできない謎がまだまだたくさんあるのです。「我々はどこから来て、どこへ行くのか」究極のミステリーに取りつかれた人々の次なる活躍が楽しみになる本です。



書名『翻訳夜話』 村上春樹 柴田元幸 著 文芸春秋（文春新書）2000.10

紹介者 田 代

ここ県立図書館にはたくさんの本があって、それぞれ 1 0 のジャンルに分類され、配架されています。その中でも皆さんがよく借りていかれるのは日本の文学（913.6）ではないでしょうか。日本の作家で、今や日本だけでなく世界中にその著書が訳され読まれている村上春樹は、小説家でもあり、また自身もたくさん本を翻訳しています。

彼と、これまた翻訳が本業でアメリカ文学の研究者である柴田元幸が、「翻訳」をテーマに、東大教養学部ワークショップや翻訳家を目指す専門学校の生徒たちとの授業の中で、それぞれの翻訳観を語っています。

たとえば主人公の一人称を決める時どうするのか？についての対話や、二人が同時に同じ文章を訳したもののが載っていたり、普段外国の文学（933）を何気なく読んでいる方もこの本を読んだ後にはちょっとその原書に興味が出たりするかもしれません。4 月から外国語の勉強を始めた方にもお勧めの本です。

ちなみにこの本の続編として「翻訳夜話 2 サリンジャー戦記」 村上春樹 柴田元幸著 文春文庫 2003.7 も出ています。こちらもあわせてどうぞ！



けいじばん

県立図書館だより編集室からです

県立図書館では新任職員を迎えての新年度がスタートし、早いもので 1 ヶ月が過ぎました。現在、新任職員の皆さんは新しい業務に慣れようと頑張っております。利用者の皆様にはご不便をお掛けすることもあるかもしれませんが、温かく見守っていただければ幸いです。（眞壁）



5 月の休館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■ は休館日です。 ■ は特別整理期間により休館となります。

開 館 時 間

平 日 午前 1 0 時～午後 8 時（4 月～ 10 月）

土日・祝日・館内整理日 午前 1 0 時～午後 5 時

休館日の図書の返却は、入口のブックポストへお願いいたします。

編 集 発 行 秋 田 県 立 図 書 館 〒 010-0952 秋田市山王新町 1 4 - 3 1 TEL 018-866-8400
発 行 日 平成 1 8 年 5 月 1 日 自動応答電話 TEL 018-866-8406
U R L パソコン用 http://www.apl.pref.akita.jp 携帯電話用 http://ill.apl.pref.akita.jp/m/
E - m a i l 図書館全般について apl@apl.pref.akita.jp 資料の問い合わせ houshi@apl.pref.akita.jp



秋田県立図書館広報

特 集 号

県立図書館だより



2006 5 月号

特 集 あきた文学資料館開館 えほんのへや（県立図書館 閲覧室内）の紹介

今年度の基本方針と重点

秋田県立図書館長 濱 田 純

本格的な生涯学習時代を迎え、知的基盤・生涯学習の基盤機関としての県立図書館の役割は、年々その重要性を増してきています。そこで、今年度は県民の皆様の学習機会の拡大と情報要求に応えるための資料の整備・拡充はもちろんのこと、図書館サービスをより一層充実させること、また、市町村立図書館等に対する協力・支援を強力に進めるとともに、他の教育機関や団体と連携し、県民の学習と文化の向上に寄与することを基本方針に掲げております。特に、今年度は子どもの読書活動 5 カ年計画の 4 年目に入ることから、県内各小・中・高等学校・特殊教育学校の学校図書館への具体的な協力・支援のほか、高齢者サービスの充実などを重点に進めてまいります。

職員一同、図書館奉仕の精神に徹し、誠心誠意努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



主催事業のお知らせ

参 加 募 集

第 1 回

秋 田 ふ る さ と セ ミ ナ ー

演題 『アメリカ教育最前線』 - 「学び」の新たな試み

講師 ジャーナリスト、英語教師 平 川 英 二 氏

【 日 時 】 6 月 8 日（木）午後 1 時 3 0 分～ 3 時

【 会 場 】 県立図書館 3 階 多目的ホール

【 申 込 み 】 電話、ハガキ、FAX、閲覧室カウンターでお申込みください。5 月 9 日（火）から受付けます。

【 定 員 】 先着 5 0 名

【 問い合わせ 】 県立図書館 奉仕班 調査相談担当

TEL 018-866-8400 FAX 018-866-6200



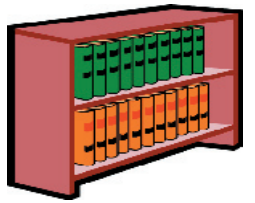
特別整理期間のお知らせ

蔵書の点検作業や書架等の清掃・整理、書庫内資料の移動などを行うため、下記の期間は休館となります。皆様にはご不便をお掛けしますがよろしくお願いします。

期間：5 月 1 5 日 月 ～ 2 0 日 土

2 1 日 日 は休館日となっております。

※休館中の図書の返却は、正面玄関脇のブックポストへお返しく下さい。



～新館オープン～

あきた文学資料館

開 館 情 報

平成18年4月28日（金）に開館いたしました。

旧秋田東高等学校の跡地に、あきた文学資料館が開館いたしました。

この日は、開館記念式典や西木正明氏を講師に招いての特別講演会が行われました。多数のご来館ありがとうございました。

文学資料館の機能や収集資料についてご紹介します。

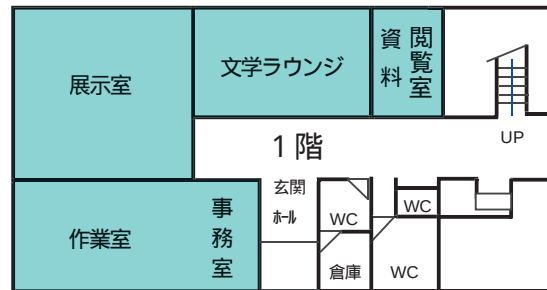
文学館の機能

1 階

- 展示室
資料的な価値の高いものなどを展示しています。
- 文学ラウンジ
来館者が秋田の文学に親しめる空間です。



展示室

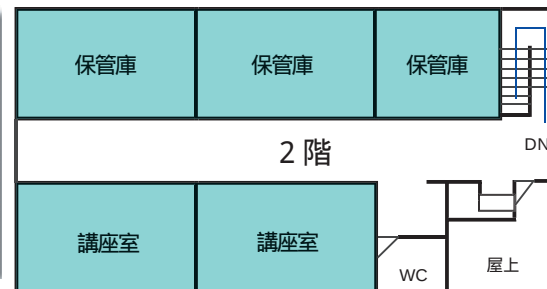


2 階

- 保管庫
雑誌や単行本などの資料を保管しています。
- 講座室
文学講座などの事業を開催します。
1～4室に区画が可能です。



講座室



主な収集資料

文学史に関わる資料

明治時代の文芸誌や「種時く人」をはじめ、秋田の近代文学史を語る貴重な資料です。

作家の自筆資料

色紙や短冊のほか、原稿、書簡、ハガキなど、秋田ゆかりの作家たちの貴重な自筆資料です。

県内の文芸雑誌

文芸活動は戦後大きく花開き、多くの文芸誌やサークル誌を生み出しました。貴重な創刊号なども多数収集しています。

開 館 時 間 9時30分～午後5時

休 館 日 月曜日（第3日曜日の翌を除く）、第3日曜日
年末年始、特別整理期間

秋田駅西口から徒歩 10 分

〒010-0001 秋田市中通六丁目 6-10

TEL 018-884-7760

FAX 018-884-7761

URL www.apl.pref.akita.jp/bungaku/index.html

～思い出の校舎から

文学資料館へ～



あきた文学資料館



このへやで、ゆっくり
えほんをみてね！



子ども用の絵本がたくさん置かれています

おとうさんやおかあさんと

たのしくえほんがみられるよ



こんな感じのへやです



えほんのへや（2階閲覧室内）

書棚やイスの高さが子ども向けとなっています。
タッチパネル式の検索機で、絵本を探すことができます。

”読み聞かせ30（サンマル）運動”

親と子どもが最も親密な関係にある乳幼児期に絵本の読み聞かせを通して、滋味豊かな言葉の世界を楽しみながら心のふれあいを深め、子どもの情感を大切に育んでゆくことを願いとして、県が進めている運動です。

マザーズタッチ選考委員により選定された絵本を、専用のコーナーに集めてあります。自由に手にとってご覧ください。



えほんのへやミニ展示

ニッサン童話と絵本のグランプリ 最優秀受賞作品 を展示しております。

子どもの読書週間に合わせ、5月12日まで展示します。今後、日本絵本大賞作品の展示なども行う予定です。



『ぼくのスケッチブック』山下奈美 作 ひろいゆりこ 絵 B.L出版

たからもののスケッチブックの7枚目に、だいすきなワニの絵をかいたぼく。ワニは、スケッチブックの絵をバクバク食べる。だから、ガブリという名前をつけた。

大きな虹を食べて七色に光ったり、リンゴの木にとまっていた黄色い鳥と友達になったりもする。

でもどんどん食べて、どんどん大きくなったガブリには、もうスケッチブックは狭すぎて……。だからぼくは長い長い長い川をかいたんだ。

第21回ニッサン童話と絵本のグランプリ童話大賞受賞作品